



## 財務相、円買い介入「一定の効果」4～5月に9.7兆円

鈴木俊一財務相は4日の閣議後の記者会見で、4月26日～5月29日に実施した9兆7885億円の為替介入について「一定の効果があった」と述べた。4月に1ドル=160円台と34年ぶりの安値を付けた対ドルの円相場は、足元で156円台を推移している。

財務省は5月31日に同期間中の為替介入実績を公表した。実施は2022年10月以来およそ1年半ぶりとなった。

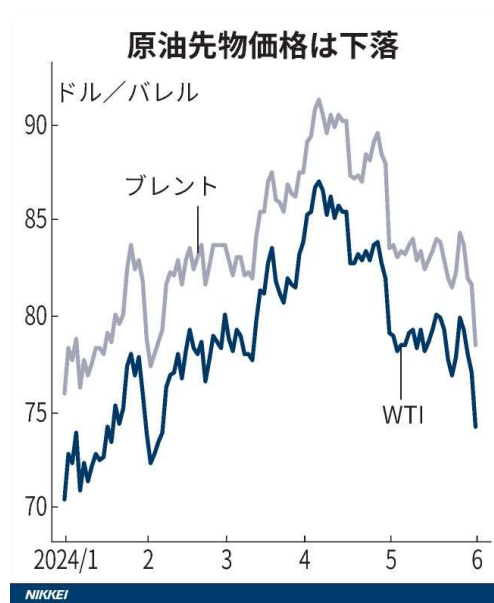
鈴木氏は実施の理由について「投機的な動きも背景とした過度な変動に対応するため」と説明した。「引き続き為替市場の動向をしっかりと注視して、万全の対応をとっていきたい」と語った。



## NY原油、一時73ドル台 OPEC減産縮小で4カ月ぶり安値

原油価格に下押し圧力がかかっている。3日の米ニューヨーク市場で米原油指標のWTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）先物は4日続落し、2月上旬以来およそ4カ月ぶりの安値をつけた。産油国でつくる石油輸出国機構（OPEC）プラスが2日に減産縮小を決め、供給増による需給の緩みが意識された。

WTIは前週末比3.6%安の1バレル74.22ドルで取引を終えた。一時は73.98ドルまで下げる場面もあった。欧州指標の北海ブレント原油先物も一時4.3%安の78.09ドルまで下げ、4カ月ぶりに節目の80ドルを割り込んだ。



サウジアラビアなどのOPECとロシアなどで構成するOPECプラスは2日の閣僚級会合で、1月から実施している有志8カ国による日量220万バレルの自主減産を10月から徐々に減らしていくと決めた。2025年は世界の石油供給が需要を上回る公算が大きくなった。

世界最大の石油需要国の米国の景気に減速感が出ていることも原油価格の下げにつながっている。米サプライマネジメント協会（ISM）が3日発表した5月の製造業景況感指数は48.7と、好不況の境目である50を2カ月連続で下回り、市場予想にも届かなかった。

一方、米エネルギー省（DOE）は3日、民間企業と300万バレルの石油の購入契約を結んだと発表した。11月に受け渡し、戦略石油備蓄（SPR）に加える。米バイデン政権は1バレル79.99ドル以下でSPRを買い戻す方針を掲げており、市場では一定の原油価格の下支えにつながるとの見方もある。



## ENEOS、横浜の研究所に新棟 機能集約し脱炭素など強化

ENEOSホールディングス（HD）は中央技術研究所（横浜市）に新たな研究棟を設けると発表した。これまで15ほどの棟に点在していた研究室・執務室などの研究機能を新棟に集約し、研究者同士の交流機会を増やす。水素や合成燃料などの次世代燃料で革新的な技術開発につなげることを狙う。

2026年度の完成を目指す研究棟は4階建てで延べ床面積は約2万平方メートル。中央技術研究所に所属するほぼ全員にあたる約500人が勤務する予定。投資額は明らかにしていない。

既存の研究棟の一部は継続して利用する。石油製品や素材などの研究も従来通り続ける。ENEOSHDは需要が縮小する石油に代わり、水素など脱炭素につながる燃料の供給を新たなビジネスに育てようとしている。



中央技術研究所（横浜）に建てる新棟のイメージ



## 出光興産、富士石油と資本業務提携で記念式典

出光興産は3日、石油精製の富士石油と資本・業務提携すると決めたことを受け、記念式典を富士石油の袖ヶ浦製油所（千葉県袖ヶ浦市）で開いた。出光の木藤俊一社長は「日本最大の需要地に隣接する京葉コンビナート内の両社の製油所を起点としたさらなる協業深化により、次世代燃料の基幹供給拠点へと進化していける」と述べた。

式典には両社の社長をはじめ、50～60人の幹部が参加した。富士石油の山本重人社長は「提携による進化の機会を最大限に生かし、来たるべきトランジション（石油から脱炭素燃料への移行）に挑戦していく決意だ」と話した。

出光と富士石油は4月に資本・業務提携することで合意したと発表した。出光は公正取引委員会の通知などを踏まえて富士石油への出資比率を引き上げ、持ち分法適用会社にする。原油の調達や輸送のほか、脱炭素燃料の供給に向けた投資で協力する。





## 週間原油コストの推移

|             | 期間        | 原油相場   |        | 為替レート(▲は円高) |        | 円建て原油コスト |        |
|-------------|-----------|--------|--------|-------------|--------|----------|--------|
|             |           | ドル/バレル | 前週比    | ドル/円        | 前週比    | 円/ℓ      | 前週比    |
| 火曜日～<br>月曜日 | 4/23～4/29 | 89.68  | 0.24   | 156.25      | 0.60   | 88.13    | 0.57   |
|             | 4/30～5/6  | 86.49  | ▲ 3.19 | 158.00      | 1.75   | 85.95    | ▲ 2.18 |
|             | 5/7～5/13  | 84.54  | ▲ 1.95 | 156.28      | ▲ 1.72 | 83.09    | ▲ 2.86 |
|             | 5/14～5/20 | 84.51  | ▲ 0.03 | 156.66      | 0.38   | 83.27    | 0.18   |
|             | 5/21～5/27 | 83.54  | ▲ 0.97 | 157.75      | 1.09   | 82.88    | ▲ 0.39 |
|             | 5/28～6/3  | 83.65  | 0.11   | 158.18      | 0.43   | 83.22    | 0.34   |
| 水曜日～<br>火曜日 | 4/24～4/30 | 89.89  | 1.01   | 156.76      | 1.03   | 88.62    | 1.57   |
|             | 5/1～5/7   | 85.62  | ▲ 4.27 | 157.07      | 0.31   | 84.58    | ▲ 4.04 |
|             | 5/8～5/14  | 84.53  | ▲ 1.09 | 156.73      | ▲ 0.34 | 83.32    | ▲ 1.26 |
|             | 5/15～5/21 | 84.55  | 0.02   | 156.69      | ▲ 0.04 | 83.32    | 0.00   |
|             | 5/22～5/28 | 83.32  | ▲ 1.23 | 157.84      | 1.15   | 82.71    | ▲ 0.61 |
|             | 5/29～6/4  | 83.01  | ▲ 0.31 | 158.08      | 0.24   | 82.53    | ▲ 0.18 |

※原油はドバイ、オマーン平均、為替レートは三菱UFJ銀行のTTSLレート